手話サークル「かざぐるま」

会員　畠山 美加

令和元年５月からこのサークルに参加しています。趣味でフラダンスをやっているのですが、フラダンスは手話のように手や体で言葉を表現します。だから、元々手話に興味がありました。また、新しい元号になったタイミングで何か新しいことを始めようと思っていたところ、手話奉仕員養成講座の日にちがたまたま自分の誕生日だったので、何かの縁を感じて講座を受けることにしました。講座を始めてすぐサークルにも参加し始めました。

この日は手話で
なぞなぞ

手話で話す時は表情を大事にしています。ろう者には声のトーンが分かりません。オーバーなくらい表情豊かに表現することで、相手に自分の気持ちを伝えられると思います。手話を勉強するようになって、ろう者と手話でコミュニケーションをとる楽しさを知りました。また、街中でろう者に話しかけて、楽しくお話しさせてもらったこともあります。覚えた手話がろう者に伝わるとうれしいですね。

５年勉強していても分からない言葉はまだまだたくさんありますが、分からない言葉はジェスチャーでカバーできるのが手話の良いところ。それに、分からない手話があったとしても、ろう者が優しく教えてくれます。このサークルのように、手話を学ぶ環境やろう者と話す環境があるのはとてもありがたいことです。いろいろな人に、アルファベットを習うように指文字だけでも覚えてもらって、そしてろう者と関わりを持ってほしいですね。まずは１歩踏み出してみませんか。

手話サークル「かざぐるま」

ろう者との交流を通して、手話を学習します。
と　き：㊋午前 9時 30分～、㊎午後 7時～、㊏午後 2時～
ところ：勤労福祉会館
問合先：市社会福祉協議会（☎69-3911）